

令和3年10月31日執行

衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査

選挙の記録

福井県選挙管理委員会

はじめに

第49回衆議院議員総選挙は、令和3年10月14日に衆議院が解散されたことに伴い、同年10月19日に公示され、10月31日に執行された。また、第25回最高裁判所裁判官国民審査が同時に行われた。

今回の総選挙は、衆議院議員の任期満了まで残り1週間という時期に解散されたため任期満了日以降の総選挙となったこと、解散から公示までの期間が5日間しかなかったことなど、異例づくめの総選挙となったが、選挙の管理執行に万全の体制で臨むとともに、期日前投票の周知や投票参加の呼びかけを行った。

また、本県においてはコロナ禍における初の国政選挙となり、投票所における感染症対策や特例郵便等投票について県から有権者に対して周知を行ったほか、各選挙管理委員会においては投開票事務における感染症対策を実施することになった。

本県の2小選挙区には4人が立候補し、激しい選挙戦が展開され、県内小選挙区の投票率は前回は1.85ポイント上回る57.77%となった。

そして、選挙翌日には全国的にいわゆる「一票の較差」選挙無効訴訟が提起され、同様の訴訟が県内2小選挙区でも提起された。

このような中、特に大きな問題もなく円滑に選挙を執行することができたのは誠に幸いである。第一線で投開票をはじめとする各種事務に携わられた市町の選挙事務関係者の方々および明るい選挙の推進に格別の御協力をいただいた明るい選挙推進協議会をはじめとする諸団体の方々に、深く感謝の意を表する次第である。

令和5年6月

福井県選挙管理委員会
委員長 金井 亨